

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業評価シート						令和 2 年度事後評価・決算		所管課		消防本部			担当班	警防課		
事務事業名		コード	33000 消防施設整備事業		予算科目	会計	款	項	目	事業種別	☒ 主な事業					
					一般	9	1	1	☒ 国土強靱化地域計画							
施策体系	基本施策	27	消防・防災力の強化		根拠法令	消防法第20条 水道法第24条第1項						☒ 新市建設計画				
	施策の展開	58	消防体制(常備・非常備)の充実		戦略事業	245	消防施設の整備(常備・非常備)(消防施設整備事業・消防庫整備事業)						☐ 定住自立圏構想			
	施策の展開				戦略事業								☐ 主要事業			

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返		・老朽化した金網張り防火水槽の金網を、撤去要望等が無ければ新しいものに張り替える。また、既存の屋根付防火水槽の屋根の破損や、防火水槽が漏水し消防水利として水量を確保できないものを修理し、危険のない使用可能な状態にする事業。 ・防火水槽用地を借りて設置されている防火水槽が、地権者から用地返却を求められた際、撤去要望書を提出してもらい土砂等で埋め戻し現状回復を行う事業。 ・住民からの設置要望や旭市消防力整備指針の計画にあわせ毎年度耐震性貯水槽の設置を整備計画する。 ・旭市総合戦略の策定もあり、市民の生命、身体及び財産の保護のため、火災等の災害に備え計画的に消火栓を設置する。また市内に設置されている消火栓が常に良好な状態で使用できるように、腐食したボルト等の交換を行い、安全な消防活動ができるように維持管理する。		
☐ 平成 年度～				
☒ 開始年度不詳				
☐ 期間限定複数年度				
平成 年度～ 令和 年度まで				
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④事務事業に関する課題・環境の変化		⑤事務事業に対する住民からの意見等
・住民の転落事故等防止のため始まった。 ・地権者から土地の返却を求められたことから始まった。 ・上水道整備事業開始に伴い、計画的に消火栓を設置し迅速な消火活動ができるよう各計画に組み込んで実施している。また、安全 確実な消火活動を確保するため、ボルト等が腐食した消火栓を修理する必要があったため。		・年数が経過した防火水槽の破損により、金網の張替えや屋根の改修件数が多くなっている。・突発的な撤去要望が多く、予算化されていない年度内の実施が難しいため、地権者の理解を得るために苦慮することが多い。・年数が経過した古い防火水槽は耐震性が無く漏水が多いため、防火水槽の入れ替えも検討したいが、厳しい財政状況下で、漏水箇所の目地埋めやシート張り等の一時的な工事しかできない。		・近年住民の防災意識が高まっているなかで、老朽化した防火水槽の改修要望が多くなっている。